

# 戦時・占領期

入場無料・登録不要

お気軽にお越しください

# 印刷紙芝居の諸相

— 浦上喜平収集紙芝居の寄贈をうけて —

## 浦上喜平収集紙芝居(浦上史料)について

昨年、本学図書館に戦時・戦後期の紙芝居194点が寄贈されました。これは、浦上喜平氏(掛川市の篤志家。戦時・戦後の混乱期に奉仕活動に熱心に取り組んだ方)が収集したもので、当初は掛川周辺に集団疎開させられた児童たちの慰問が目的でした。紙芝居を数多く保存している機関は多々ありますが、一人の人間が実際に使用するために集めたものとしては、質・量ともに類例をみません。本シンポジウムでは、この貴重な史料群が持つ意味を様々な角度から分析し、その位置づけを探ります。



上/横山隆一(作・画)日本通運、1941年  
大政翼賛会宣伝部推薦

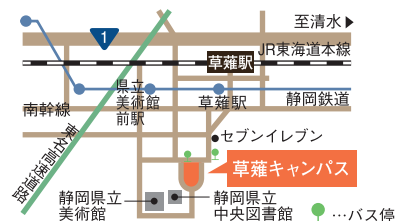
下/小松葉須邦(作)・古藤幸年(画)日本教育画劇、1943年9月



2018(平成30)年

12/22(土) 13:30~17:00

静岡県立大学 附属図書館(草薙キャンパス) 3F LCフロアー



### 第一部 浦上史料の紹介

北原勤「浦上喜平という人」(静岡県近代史研究会会員)

森山優「浦上史料の概要」(静岡県立大学国際関係学部教授、神奈川大学非文字資料研究センター客員研究員)

紙芝居『日本のつばめ』上演(静岡県立大学羽衣つたえ隊)

### 第二部 紙芝居研究の現状と展望

#### 基調講演

安田常雄『国策紙芝居—その視点と問題群』

(神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター「戦時下日本の大衆メディア」

研究班代表、神奈川大学歴史民俗資料科学研究科特任教授)

#### 研究報告

新垣夢乃「植民地台湾の紙芝居—故郷喪失者が描いた「ふるさと」「日本」—」(東京福祉大学講師、非文字資料研究センター研究協力者)

#### 討論



非文字資料研究叢書1  
安田常雄編著  
勉誠出版、2018年2月  
第24回児童文学学会  
特別賞受賞

静岡県立大学  
紙芝居研究会について

2006年の浦上史料予備調査を機に研究を開始。本学教員と県立高校の教員がメンバー。2010、11年には科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)を獲得。日本各地に散在している印刷紙芝居の調査を実施して来ました。

主催:静岡県立大学国際関係学部紙芝居研究会 後援:静岡県立大学附属図書館

問い合わせ先:054-264-5386(森山) 054-264-5801(図書館) E-mail moriyama@u-shizuoka-ken.ac.jp